

INTERVIEW

「全ての人に笑顔届ける」それが私たち学園が存在する理由。

学校法人登別立正学園は1955年に季節保育所として開園、これまで70年にわたり未来をつなぐ子どもたちを送り出してきた。幼児教育のスペシャリストとして、年間約500人を受け入れ、これまでに8,173人もの卒園児を見送った。現在市内各所に7施設の保育施設を運営。今後も子どもや保護者に寄り添い「全ての人に笑顔届ける」をパーパスに、真摯に子どもたちへ向き合っていく木村義恭理事長へ70年の思いや今後の展開を聞いた。

学校法人 登別立正学園

理事長 **木村 義恭**
き むら よし やす

profile

1964年、北海道登別市生まれ。1988年4月より学校法人登別立正学園に勤務。1997年白菊幼稚園・白雪幼稚園園長に就任。2018年学校法人登別立正学園理事長に就任、現在に至る。2015年、内閣府子ども子育て会議専門委員会専門委員就任。登別商工会議所会頭や一般社団法人全国企業主導型保育事業連合会会長も務めている。

「存在使命としている「全ての人に笑顔届ける」。子どもたちにはどのような取り組みを行っていますか

在園生・卒園生の子どもたち、保護者・地域の皆様、そして職員。全ての人々が笑顔になれる保育・教育・療育活動と人づくりに日々取り組んでおります。子どもたちには、体幹を整え健康な身体・前頭前野に刺激を与え自ら学ぶ習慣・非認知能力の活動を通じ、自己肯定感を育て生きる力を育てる教育保育を通じて、自分の夢をカタチにする取り組みです。



白菊幼稚園

「園の特色について教えてください」

毎日の運動遊びを通して体幹を整えます。絵本や文字に触れることで集中力が付き、語彙数が増え、感性の幅を広げ育ちます。製作や楽器遊びなど指先を多く使う巧緻動作で、臨界期と呼ばれる幼児期の脳に毎日刺激を与えます。白菊幼稚園やコロポックルの森、白菊アフタースクールに通う子どもたちなど0～12歳までの幅広い年齢の仲間と触れ合っています。アフターの子どもたちの日々の取り組みを園児たちに発表し、園児はそれを見るというような形で、園内でコミュニケーション能力・非認知能力を伸ばします。



コロポックルの森

「学園創立70周年を記念した事業を企画しているとお聞きしました」

故郷・登別に感謝しながら、在園生、卒園生、アフタースクール、プログラミング教室のぼプロ在籍のお子様、児童発達支援・放課後等デイサービスビューティフルステートに通う子どもたちや保護者の皆様、学園・登別・白老・ふるさとを愛する皆様を対象に、みんなで大きな「温泉マーク」の人文字づくりにチャレンジします!2018年に鬼怒川温泉で466人が挑戦し、ギネス世界記録に登録されました。70周年に合わせ、目標は700人です。工学院で開催します。温泉に遊びに来た方たちも気軽に参加してもらいたいです。たくさん笑顔と思いを一つにして、ギネスの世界記録に挑戦します!



幌別東保育所

「一創立当初を教えてください」

昭和30年5月法華寺の檀信徒のご子弟5名と本堂で季節保育園としてスタートしたのが歴史のはじまりでした。その年の10月には26名に増え昭和39年には幼稚園の認可を頂きました。保育のスタートは2代目理事長である木村時子が高校卒業後に保育士資格を取得し邁進しました。



ストロークハウス

「子どもたちに託す思いはありますか」

生きにくい世の中を生きていると思います。学園でたくさんの経験をして心も身体も逞しく育て人生を楽しく生きてほしい。

「子どもに携わる機関として印象や、思い出に残っていること、強み、子どもたちの個性を引き出すために行っていることはありますか」

子どもが成長するためには同じような年齢のこどもと親以外の大人、特に専門的な知識を持つ保育者は重要です。模倣することから始まることを子どもたちは教えてくれ



ビューティフルステート

ます。返事や食事の仕方、椅子の整理など子どもは自分の鏡だと感じる事が多くあります。また、子どもたちの個性を引き出すために、一人ひとりの特性をよく見て、その子の得意分野を見つけ、引き出してあげてを心掛けています。我々の考えの中で、その子たちが生きていくためには体幹を整えることです。考え方が前向きになったり、何かに対して意欲的になったりします。読み書きをし、絵本をたくさん読むことで「自分の思っていることはほかに考え方がある」と、いろんな価値観があることを学んでいきます。多様な人たちがいることを小さいうちから学び、その中で自分を発揮していきます。夏休みや冬休み前に話す約束事では「読み書きを続けること。自分の体を育てるために太陽の光が必要だけ車には気を付けて。体操すること。絵本を読むこと。家族の大切な一人なので自分が家族のためにできることをしましょう」と話しています。



海の子保育園

「来年度に本格実施となる「こども誰でも通園制度」の試行事業「あいすぽっと」が1年経とうとしていますが、利用者の方たちからの反響や、意見などの声にはどういったものがありますか」

「預かりの要件がなく、気軽に預けられることでリフレッシュできた」「自分の都合のいい時間に利用申し込みができる!」「自分の時間があるだけで心に余裕ができて子どもと向き合える」などのありがたい声があります。同じ年代の子どもたち同士が刺激を受け合うことや、親以外の大人との関わりを持つことによって、子どもにとって良い影響を与える重要な機関を担っていることはありがたいと思っています。しかし、月10時間しか利用できないという制約があるため、もっと広げる必要があります。そこで来年、試行事業から始まった「誰通一」は一時預かりも併用し、市内で待機児童が出た場合に待機児童対策もできる場所にしたいと思っています。子どもにとっても、親にとっても子育てを支援できる総合機能を発揮したいと思っています。



あい♡すぽっと

「これまでの歴史を振り返って」

幼稚園は人口が右肩上がりの時代は願書を受け取るのに深夜から並んだ時がありました。いまは保護者の就労の有無に関わらず、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園へと進化しております。現在は特別に配慮が必要なこども達を支援する取り組みや職員が長く働き、身に着けたスキルを発揮できるよう福利厚生ミニ保育園、誰でも通園制度など時代の変化に合わせて進化しております。これまでも多くの皆様方のご理解とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

「80、90周年に向けて今後の目標などについておしえてください」

時代は変化しても、人の成長には教育・保育が必要です。登別立正学園と出会うと、どんな人でも笑顔になりその魅力を話さずにはいられない、まるで教育・保育・療育のディズニーランドを目指して、学園はこれからも全ての人に笑顔届ける歴史を積み重ねて参ります。

学校法人 登別立正学園

70th Anniversary

全ての人に笑顔届ける

認定こども園 白菊幼稚園

キッズ&ブレイ教室
北海道登別市桜木町2丁目5番地3
☎ 0143-85-2545
✉ info-shiragiku@nrg.ed.jp

コロポックルの森

一時預かり事業
☎ 0143-85-2255
✉ info-koropokkuru@nrg.ed.jp

企業主導型保育事業 ストロークハウス

北海道登別市中央町3丁目22番地1
☎ 0143-85-2255
✉ info-strokehouse@nrg.ed.jp

幌別東保育所

一時預かり事業
北海道登別市幌別町8丁目17番地
☎ 0143-88-0151
✉ info-east@nrg.ed.jp

白菊アフタースクール

北海道登別市桜木町2丁目25番地8
☎ 0143-83-1162

認定こども園 白雪幼稚園

北海道登別市登別本町2丁目25番地9
☎ 0143-80-1133

公私立連携幼保連携型認定こども園 海の子保育園

キッズ&ブレイ教室
一時預かり事業
北海道登別市白老町虎杖沢74番地11
☎ 0144-87-2481
✉ info-uminoko@nrg.ed.jp

児童発達支援・放課後等デイサービス ビューティフルステート登別

北海道登別市富士町2丁目11番地6
☎ 0143-84-8005
✉ info-bs@nrg.ed.jp

学校法人登別立正学園 あい♡すぽっと

こども誰でも通園制度試行事業
☎ 0143-83-4555
✉ info-ai_spot@nrg.ed.jp

プログラミング教室 白菊幼稚園・コロポックルの森

☎ 0143-80-2772
✉ nobopro.staff@nrg.ed.jp

登録子育て支援センター

コロポックルの森内
☎ 0143-80-2772
✉ info-center@nrg.ed.jp

ホームページ <https://nrg.ed.jp>

就職向けLINE

学園 Instagram

BS Instagram

コロポックル Instagram

あい♡すぽっと Instagram

支援センター YouTube

のぼろ YouTube